



NPO PTPL “ともいき” 便り No.163

平成 31 年（2019 年）1 月 20 日発行

■大寒（だいかん） 平成 31 年 1 月 20 日から 2 月 3 日までの節気

童謡♪おおさむ こさむ 山から小僧が 飛んできた～♪の季節ですね。1 月 20 日から 2 月 3 日まで、「大寒（だいかん）」の節気となります。一年で一番寒い時季で、小寒と大寒をあわせた約 30 日間を「寒の内」とよびます。お酒や味噌など寒気を利用した食材作りや、寒中見舞いを出すころでもあります。それにしても、新年を祝ったばかりなのに、もう 2 月。昔から「一月いぬる、二月逃げる、三月去る」などと言われますが、ほんとに月日のたつのが早いです。あわてず、ゆっくり過ごしたいものです。

1 月 26 日は若草山の山焼きです。毎年 1 月の第 4 土曜日に行われます。奈良県奈良市若草山の山焼きの起源については、東大寺と興福寺の境界争いを水に流すために行われたとか、山上にある鶯塚(古墳)の例を慰めるため行われたとか諸説がありますが、現在は、害虫を除き、わらびやススキなどの草の芽の出をよくする目的で行われています。午後 6 時、打ち上げ花火と消防団員が鳴らす火付けのラッパを合図に点火します。燃焼時間は 40～50 分ほどです。

2 月 3 日は「節分」です。「ともいき暦」によると、「節分は、季節の変わり目をいう言葉で、立春、立夏、立秋、立冬の前日をさしますが、いつからか立春の前日だけが暦に記載されるようになりました。これは、立春正月、すなわち一陽来復して春になるという考え方からきている」のだそうです。そして新しい年と春を迎える前に、邪気をはらい幸せを願って豆をまいて鬼を追いはらうのです。我が家では毎年豆まきをします。孫たちが大声で追いはらってくれます。そして豆まきのあと、自分の年に一つ足した数の豆を食べます。この豆のことを「年取り豆」といって一年の無病息災を祈ります。お年寄りで豆の数が多すぎて食べられない場合は、年の数の豆に熱いお茶を注いで「福茶」にして

飲むと良いと言われています。私は、まだかろうじて豆を食べられそうです。

2月2日(土)は2月最初の午の日で初午といいます。二番目を「二の午」(2月14日(木))、三番目を「三の午」(2月26日(火))といいます。稲荷を祀る行事です。もともと稲荷は稲生(いなり)の意味で五穀をつかさどる農業神でした。初午の日には「正一位稲荷大明神」と書いた赤い幟を立て、赤飯や油揚げを供えます。それはキツネが稲荷神の使いであると信じられているからだそうです。寒いけれど、今年は私も愛犬をつれて出かけてみようと思います。

初午から思い出しました。大寒の時季にぴったりの絵本があります。「こんこんさまにさしあげそうろう」(森はな/作 梶山俊夫/絵)PHPという絵本です。「なんにちも雪が降り続いて、山も畑もまっしろになりました。子ぎつねのためにエサをさがしに行く母ぎつねの耳に、チーン、チーン、ドン、ドン、かねとたいこの音がきこえてきます。村はずれのおいなりさまの森からきこえてきます。母ぎつねは音のするほうにいつてみました。すると、こどもたちが、「こんこんさまに さしあげそうろう」と歌いながら、おいなりさまにおそなえものを置いているではありませんか。その日は「のせぎょう」の日。大きな子が小さな子に話します。「冬一番寒い大寒の晩に、山のきつねたちが村へにわとりをぬすみにこないよう、わるいことをしないよう、おいなりさまにおねがいのおまつりをしておそなえものをわけてあげるんだよ。」と。母ぎつねはおそなえものをくわえて、子ぎつねのもとに走ります。」・・・そういう物語です。「野施業」。なんて優しい行いでしょう。おそなえは、「あずきめしと、あぶらあげと、かわじゃこ」です。

花屋さんに水仙がピンと背筋を伸ばして売られていました。一束しか買いませんでしたが、とてもいい香りがしました。今年初の満月は、21日です。

寒い日が続きますし、空気が乾燥してインフルエンザも流行っています。くれぐれも、ご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

2019年、2020年は日本にとっても世界にとっても最も重要な2年間です。

2019年4月30日の今上陛下のご退位、翌5月1日の皇太子殿下の新天皇ご即位と、平成の時代もあと3が月余りとなりました。新元号を2019年4月1日に閣議決定し、同日中に公表する方針を固めました。いよいよ平成の時代の終了に向けカウントダウンです。

まさに、日本にとって大切に重要な2019年です。

そして、来年2020年は東京オリンピック・パラリンピックです。

将来を考えた「オリンピック・レガシー」についてもいろいろ議論がされ始めています。

しかし、現在の世界を見渡すと、グローバル化は急速に進展する一方、自国第一主義や格差や分断など諸問題が山積し、とても不安定な状態です。

社会はかつてない大変革の時代のさなかにあるのではないのでしょうか。

われわれ日本人が、日本とは、日本人とは、ジャパネスクとは、をしっかりと考え、見据えて、世界に訴求し、理解してもらおう時代であると考えます。

「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして和、ジャパネスクは将来の平和な世界をつくりあげるためのひとつのキーワードになるでしょう。

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●1月もあっという間に過ぎ、早くも24節気の24番目である「大寒」の節気を迎えます。東京地方は連日雲一つない晴れ渡った青空がつづき、夜空に浮かぶ月も一段とくっきり輝いています。厳しい寒さの時季ですが、自然からの素晴らしい贈り物です。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FBをご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp